

「訪問看護ハイレベル人材養成研修会」

【事前課題】

◆目的・方針

現在、「地域包括ケアシステム」の構築が推進される中、医療と生活の両方を支えることのできる訪問看護はその中でも重要な役割をはたしている。地域で生活している療養者を支えるために、訪問看護の従事者を増やすことと訪問看護の質を確保・向上することが、喫緊の課題である。

そこで、当研修会では、各都道府県から推薦された受講者が、地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を果たすために、「訪問看護師の量的・質的確保の課題を整理し解決策の糸口を提言できる」、「地域の実情に沿った訪問看護の基盤整備・推進活動について方策を考えることができる」、また、それを「地域において企画・運営できる」ような人材（以下、訪問看護ハイレベル人材）を養成し、受講後、都道府県の訪問看護担当者とともに、当研修会などを伝達研修し、地域における同様の人材育成にも関わることができるようになる。この研修会を通して、最終的に各項目の講義の学びを活かして今後の取り組みの必要性や内容の検討につなげる。

事前課題「自地域における訪問看護の課題を考察する」

◆自地域における以下の項目についてあらかじめ学習し、地域における訪問看護の課題について根拠に基づき考察すること。

1. 自地域における訪問看護に係るデータから、現状の提供体制を理解する。
 - ① みなしも含めた訪問看護事業所数を、情報公表システムや保険者等より確認する。
 - ② 訪問看護に係る従事者数の現状とこれまでの推移について、どのような職種・専門性の人がどのぐらいいるのかを介護サービス施設・事業所調査等から収集する。
 - ③ 訪問看護の利用者数の現状とこれまでの推移について、介護サービス施設・事業所調査等から収集する。
2. 自地域における訪問看護に係る事業の実施状況を理解する。
 - ① 都道府県が実施している事業（例えば、地域包括ケアにおける訪問看護強化推進事業・退院支援マネジメント養成研修事業・訪問看護師運営支援アドバイザー事業など）
 - ② 市区町村が実施している事業（例えば、地域拠点における訪問看護師基礎研修会など）
 - ③ 職能団体等が実施している事業
3. 地域医療構想、地域医療計画、介護保険事業計画などを参照し、行政側の課題認識を理解する。
4. その他（自地域の課題を考察するにあたって必要な点など）

◆提出方法

自地域の課題とその根拠をあらかじめA4、Word1枚にまとめ、メールに添付し期日までに提出すること。

課題提出用紙は以下のURLからダウンロードできます。

課題提出用紙ダウンロードURL：<http://www.zenhokan.or.jp/files/highlevel/highlevel.docx>

提出先：メールアドレス：highlevel@zenhokan.or.jp

◆締め切り

平成28年10月27日（木）

◆お問い合わせ先

一般社団法人 全国訪問看護事業協会

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目3番12号 壺丁目参番館401

電話：03-3351-5898 FAX：03-3351-5938

担当：吉原 由美子

メールアドレス：yoshihara@zenhokan.or.jp